

# 比内中学区

## 1 はじめに

昨年度に引き続き「意欲的に学び、豊かな心と確かな学力を身に付け、ふるさとに根ざす比内の子どもを育てる小・中連携はどうあればよいのか」というテーマに基づき、小・中のよりよい連携の在り方を模索してきた。そして今年度は学校数が1減となったが、新たに「基礎学力の向上」「豊かな心の育成」「ふるさと・キャリア教育の推進」の3つを共通実践事項として掲げ、9年間を見通した児童生徒の育成に取り組んだ。

## 2 今年度の取組

月 日	実践内容	月 日	実践内容
5月17日	連携研究会事前打ち合わせ会	11月22日	第2回小・中連携研究会
6月1日	第1回小・中連携研究会	1月下旬	中学校体験入学 入学説明会

## 3 活動の実際

### (1) 第1回小・中連携研究会（会場：比内中）

- ①授業参観（全学級）
- ②中1生の状況報告（NRT学力検査結果を含む学習面や生活面について）
- ③全体会（会場校校長あいさつ、事業計画説明、学校評議員及び会員紹介）
- ④分科会（「基礎学力の向上」「豊かな心の育成」「ふるさと・キャリア教育の推進」）

この日は、比内中学校区の合同評議員会も併せて実施した。また今年度は、新たな試みとして、全体会開催に先駆けて1年生のNRT学力検査結果の状況について中学校側から説明があり、学力面の課題について共通理解を図ることができた。

分科会では、テーマ毎に3部会に分かれ、各校の取組や状況について情報交換を実施した後、年間を通じて全校で共通して実践する内容について話し合った。

### (2) 第2回小・中連携研究会（会場：西館小）

- ①授業参観（全学級）
- ②分科会（第1回目と同様のテーマ）

1回目の話し合いを受け、テーマに基づき各校で実践した内容を資料にまとめ、それを持ち寄り協議した。各分科会の様子は次のとおり。

#### ・第1分科会（「基礎学力の向上」）

表現力や話し合い活動の取組、基本的な学習の約束、研究体制など、各校の取組のよさについて情報交換をし、学び合うことができた。中1ギャップ解消のため、特に6年生ではメモを取りながら話を聞く指導や、家庭学習で予習にも取り組む習慣づくりをすることが必要であるといったことについても確認し合った。

#### ・第2分科会（豊かな心の育成）

各学校で、生徒会や児童会、縦割り活動などを通じてあいさつ運動に意識して取り組んでおり、その成果が着実に表れてきている。ただ、小学校では地域でのあいさつが課題となっている。また「家族ミーティング」への取組により、家庭と連携した生活習慣の見直しが図られてきており、よい傾向がうかがえた。次年度も継続して取り組む。

#### ・第3分科会（ふるさと・キャリア教育）

各学校で情報発信を意識して取り組んでおり、今後は、そのよさをお互いに可能なところから取り込んでいく。また、情報交換や「比内地区キャリア教育の実践」の一覧表からも、各校での取組状況を把握できたが、今後は、小・中が無理なく合同で活動できる場も模索していく。なおキャリアパスポート等の引継と活用についても確認できた。

### ③全体会（分科会報告、会場校校長あいさつ）

分科会後に全体会を行い、分科会報告を行うことで、全会員での共通理解を図った。



【4年の図画工作科授業参観】

## 4 おわりに

今年度は、前年度までの成果と課題を基に、2回の研究会の持ち方や分科会構成について見直しを行い、1回目と2回目が連動した研究となるようにした。すなわち、「比内の子どもの生きる力を育成する」というねらいに向かい、会員全員がより主体的に共通実践事項に取り組むことができたことも大きな成果であった。今後は、実践項目を更に具体化したり、授業実践交流や情報交換をより充実させたりして、小・中や小・小、更には幼保・小の連携を強化し、次代を担う比内の子どもたちをの力をはぐくんでいきたい。